

湧水郷

平成28年度 嘉島西小便り
保護者・地域版 NO6
H28.11.1 文責 中野

大好きな学校をめざして～運動会～

10月29日(土)に運動会を実施しました。当初、運動会は5月の予定でしたが、熊本地震、予定されていた秋の行事との関係で10月下旬になってしまいました。10月下旬では寒いのではないかとご心配の声もありました。運動会前日は雨も降り運動会は実施できるのかという心配もありました。しかし、運動会当日は日がさすとやや暑く感じるぐらいの絶好の好天気でした。

本年度の運動会のテーマは「全力、協力、笑顔」でした。ご来賓の皆様、地域や保護者の皆様の温かいご声援の下、子どもたちは十分に力を発揮し、有意義な運動会となりました。入場行進ではそれぞれの学年が、手をあげ、足踏みもそろえて気持ちを一つに見事に行進しました。



各学年の徒走は、「よい、ドン！」のピストルの合図で、どの子も全力でゴールを駆け抜けていきました。速い子も遅い子も最後まで一生懸命に走っている姿にとっても感動しました。最後は全員で「ありがとうございました。」と言って全力で退場していく姿も素敵でした。

表現ダンスの演技は、それぞれに趣向を凝らしていました。低学年の「はなかつぱ参上」は、楽しんで踊っている様子が伝わってくる低学年らしい表現でした。中学年の「シン・エイサー」では、音楽に合わせてペットボトルを叩き、軽やかに笑顔で踊っていました。高学年の「想像以上の未来へ！」では、ダンスは笑顔で、きびきびとした動きでした。集団行動は一人ひとりが息を合わせた動きに美を感じました。西小学校の新たな伝統になってくれることを期待しています。



応援団競演では、練習の時から学年を越えて、男子も女子も協力し合って練習する姿が見られました。本番でも、団長のリードによって演舞やダンス、応援歌を披露し、西小の子どもたちのまとまりを感じました。どの競技からも子どもたちからたくさん元気をもらいました。子どもたちは運動会という大きな行事で力を付けてくれたと思います。

特別支援教育を学校の根幹として NO 5 ～ルールを決めて～

「特別支援教育」についてシリーズの5回目です。運動会での取組について、ご紹介します。運動会の全体練習の始まる前に、子どもたち



と次の約束をしました。

- ①話している人を見る。
- ②足はかかとをつける。
- ③手はズボンの縫い目につける。
- ④おしゃべりはしない。
- ⑤体育座りで座る。

上記のようなカードに輪ゴムをして職員が練習中は持って、約束を忘れた子どもたちにさりげなく見せて子どもたちに気づかせるようにしました。できているときには「すごい。できているね。」と約束ができていることを認め、褒め、励まします。それは、「おしゃべりはしない！」と口頭で怒られ、そのことが繰り返されると、「また怒られた」と自尊感情を低下させ、しまいには何度も言っても聞かなくなってしまうこともありえるからです。

学校ではこのように子どもたちと前もって約束を決め、子どもたちができるように支援していくことを大事にしています。

P T A の皆様にご協力いただいています。

運動会に向けて、執行部、体育委員会、美化委員会、広報委員会、親父の会の皆様方には、運動会についての話し合い、前日の準備、当日の運営、そして、片付けと大変お世話になりました。

また、運動会以外でも文化委員会の皆様方には図書室の本の整理等、地区運営委員会の皆様方は朝の交通指導等、特別運営委員会の皆様方には町防犯パトロール等でとてもお世話になっています。

保護者の皆様方の学校への御協力に対して感謝するばかりです。